

地域アクションプラン進捗管理シート 総括表
《高知市地域：第3四半期》

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>1. 地域の基幹品目の振興(①キュウリ・②メロン):(1/5)</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p>	<p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産技術の高位平準化 産地のまとまりづくり 難防除病害虫対策の確立 低コスト栽培技術の確立 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p>	<p>まとまりのある園芸産地育成事業 現地検討会等の開催(12月末) キュウリ6回、メロン8回</p> <p>ミナミイロアザミウマ野外発生調査の実施(11月末) 6ヶ所×18回 黄化エン病対策協議会の開催:2回</p> <p>キュウリ選果ライン改修協議 9回</p>
<p>1. 地域の基幹品目の振興(①トマト・②イチゴ):(2/5)</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p>	<p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <p>①トマト・②イチゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> 難防除病害虫対策 天敵利用技術の確立 <p>②イチゴ</p> <ul style="list-style-type: none"> 有望品種への転換 育苗期の高温対策 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <p>②新たな販路開拓</p> <p>②環境保全型農業に関する制度(エコファーマー)の継続</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p>	<p><①トマト></p> <ul style="list-style-type: none"> 病害虫対策講習会 4回 害虫対策試験圃設置1ヶ所(4~5月末)、調査回数 9回 センチュウ対策試験圃設置1ヶ所(7月~)、調査回数 2回 <p><②イチゴ></p> <ul style="list-style-type: none"> 難防除害虫(ヒラズハナアザミウマ)対策調査ほ設置 2ヶ所(~5月) 調査回数 5回 4ヶ所(11月~) 調査回数 4回 <p>・ヒラズハナアザミウマの薬剤感受性調査(2ヶ所) 調査回数1回</p> <p>・ヒラズハナアザミウマの野外発生調査(4ヶ所) 調査回数 12回</p> <p>①JA高知春野トマト加工品の販売 道の駅15ヶ所、ひろめ市場、空港など</p> <p>②JA高知市 イチゴの消費拡大PRの実施(ひろめ市場1回) 介良支所苺部役員会で、新たなビジネス展開に関するステップアップ事業の活用を啓発し、検討会を開催(5回)</p>
<p>1. 地域の基幹品目の振興(新高ナシ):(3/5)</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p>	<p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 異常気候に応じた技術対策(みつ症、休眠打破不良、晩霜害等) カラス被害軽減対策 有望品種の導入支援 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> まるはりブランドの維持、拡大 <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> <p>・加工品の開発と生産・販売への支援</p>	<p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 高品質果実生産モデル事業(遮光ネット)の導入 技術指導・情報提供(12月末、6回) まとまりのある園芸産地育成事業(学びと教える場開催6回) カラス対策協議会の設立誘導 協議会開催回数(12月末、5回)、研修会2回 現地適応性調査圃場の設置(1圃場) <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 流通販売に関する協議(12月末、4回)、技術支援・指導4回 <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工に関する支援・助言(12月末、2回) 加工連携事業者紹介(12月末、2社)
<p>1. 地域の基幹品目の振興(①ユリ・②グロリオサ):(4/5)</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p>	<p><①ユリ></p> <ul style="list-style-type: none"> 生産時期に応じた適正な施肥・灌水管理の徹底 需要の把握と、需要に応じた品種の選定・出荷量の調整 需要拡大に向けた販売促進活動の実施 <p><②グロリオサ></p> <ul style="list-style-type: none"> 秀品率の向上に向けた基本的栽培管理の徹底と、アザミウマの効果的な防除技術の確立 オレンジハートの品種特性に応じた適正な栽培管理の徹底 水揚げ環境の改善による輸送事故の軽減 	<p><①ユリ>【JA高知市】 目慣らし会・現地検討会3回、市場との販売検討会1回 部会(総会を含む)2回</p> <p>【JA高知春野】 目慣らし会・現地検討会4回、市場との販売検討会1回 市場(京都)・先進産地(新潟)調査1回</p> <p><②グロリオサ> 部会5回、勉強会2回、市場との販売検討会3回 市場調査2回(関東4社、関西3社)、モニタリングアンケート調査1回</p>
<p>1. 地域の基幹品目の振興(水稻):(5/5)</p> <p>◆農産物価格の低迷、農業者の高齢化や担い手の減少、生産コストの増大など、厳しい環境の中で、生産の高収量・高品質化やコスト高騰対策、高知ブランドのPRなど、品目ごとの生産・流通・販売上の課題の解決に取り組み、農家所得の向上やまとまりのある産地の維持を図る。</p>	<p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 実証ほの設置・調査 <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 「南国そだち」の販売促進 	<p>・水稻と露地野菜の組合せ実証圃(コンヒカリ・南国そだち)設置 4ヶ所、調査回数3回</p> <p>・省力化技術として「鉄コーティング直播」試験圃設置 調査回数 3回</p> <p>・講習会・現地検討会の開催:7回、約145名</p>

アウトプット(結果) ＜インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと＞	アウトカム(成果) ＜アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと＞	目標(H23)
<p>現地検討会等；キュウリ(進捗率80%、参加人数のべ381人) メロン(進捗率80%、参加人数のべ107人)</p> <p>発生状況の確認および対策効果の確認</p> <p>黄化エソ病対策協議会の開催(進捗率100%)</p>	<p>黄化エソ病対策として天敵を利用することで、低コスト省力化に繋がる可能性が出てきた。</p> <p>キュウリの販売額 27億円(前年対比92%) キュウリの出荷数量 10,500t(前年対比109%)</p>	<p>主業農家に占める認定農業者の割合 45% 基幹10品目の販売額99億円</p>
<p>①生ジャム 82千円(11月末) トマトゼリー 5,407千円(11月末)</p> <p>②5/8の消費宣伝 イチゴ300パック、ジャム35個 売上合計88千円</p> <p>・介良支所毎部がステップアップ事業を申請し、交付決定した(12/9)</p> <p>・ステップアップ事業を利用した、JA高知市介良支所毎部HPIによるPRを開始した(12月末)</p>	<p>生産性向上</p> <p>販売額増加 23園芸年度販売額 トマト 4.3億円(前年比98%) イチゴ 1億円(前年比110%)</p> <p>産地ブランドの維持</p> <p>下級品の付加価値向上</p> <p>産地の知名度の向上</p>	<p>主業農家に占める認定農業者の割合 45% 基幹10品目の販売額99億円</p>
<p>◆生産の高収量・高品質化、コスト高騰対策 ・対策の実施面積1.8ha、または発生量の多少 ・学びと教えの場への参加率100% ・カラス対策協議会の設立(5/30) カラス被害対策実施面積約2.1ha ・調査圃場設置(品種：南水)と継続調査</p> <p>◆高知ブランドをPRする流通・販売対策 ・販売ルート、販売先の確保(百貨店等25店舗、その他1)</p> <p>◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR ・加工品1品(アイス) ・連携事業社4社</p>	<p>・まるはりブランドの総販売量：2.17t(前年比80.3%)</p> <p>・加工原料出荷：3.55t (リキュール2,535kg、アイス140kg、ジャム880kg)</p>	<p>主業農家に占める認定農業者の割合 45% 基幹10品目の販売額99億円</p>
<p><①ユリ> 【JA高知市】 参加人数11人(参加率92%) 【JA高知春野】 参加人数10人(参加率97%) 市場調査参加人数5人</p> <p><②グロリオサ> 参加人数35人(参加率44%) 市場調査参加人数 2人</p>	<p><①ユリ> 【JA高知市】共撰率77%(前年比100%) 23園芸年度販売額 2.5億円(前年比96%) 【JA高知春野】 23園芸年度販売額 1.7億円(前年比105%)</p> <p><②グロリオサ> ミサトレッド秀2L率 31.5%(前年比 -1.2%) サザンウィンド秀2L率 46.1%(前年比 -1.5%) オレンジハートの市場評価 23園芸年度販売額 7.4億円(前年比92.2%)</p>	<p>主業農家に占める認定農業者の割合 45% 基幹10品目の販売額99億円</p>
<p>・水稲と露地野菜の組合せ栽培について、生産者も積極的になってきた。</p> <p>・直播試験を2年行ったことで、直播栽培は十分可能と判断する生産者が増えた。 一方、作型は早期稲より普通期稲がより有効であり、スクミリンゴガイの対応が不可欠との認識になっている。</p>	<p>23年産米の販売額(推計) 14.7億円(前年比118%)</p>	<p>主業農家に占める認定農業者の割合 45% 基幹10品目の販売額99億円</p>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>2. ショウガの安定供給と消費拡大</p> <p>◆基幹品目であるショウガ（露地ショウガ、ハウスショウガ）の安定生産と供給、第二次産業との連携による消費拡大とPRのための取組を進め、農家所得の向上を図る。</p>	<p>◆安定生産と供給 <露地ショウガ> □臭化メチル代替土壌消毒技術の実証と普及 □貯蔵庫の増設による供給体制の整備 <新ショウガ> ○生産技術の高位平準化 ○高温期の品質安定 ◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR <露地ショウガ> □エコシステム栽培、エコファーマー認証取得 □「こうち環境・安全・安心チェックシート」の実施 □新規加工品の開発 新商品の流通～販売システムの構築</p> <p><新ショウガ> ○消費拡大やPRを担う組織体制の整備</p>	<p>◆安定生産と供給 <露地ショウガ> 臭化メチル代替土壌消毒技術現地実証展示ほの設置・調査・成績書作成、現地検討会・研修会・研究会等の開催(4回) <新ショウガ> 現地検討会、目慣らし会等の開催(5回) 腐敗対策の実施(3回) ◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR <露地ショウガ> ・「エコシステム栽培」導入計画作成支援、「エコファーマー」計画実践支援 ・「こうち環境・安全・安心点検シート」の見直しと実施への誘導 ・加工品の開発、消費拡大とPR JA高知市：新規加工品の販売 生姜スパイス、生姜ジャム(美生柑)、生姜トマト酢、生姜ジャム(アセロラ入)</p> <p><新ショウガ> ○部会で体制を整備し、消費拡大PR実施(5回)</p>
<p>3. ユズを核とした中山間農業の活性化</p> <p>◆中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大に対応できる施設整備や担い手の振興策等の「ユズ振興総合対策」の実施により、中山間地域の活性化を図る。</p>	<p>◆ユズ搾汁施設の整備 ・工程管理による品質と信頼性の向上 ◆次世代優良母樹の確保に向けた調査と優良苗の生産供給体制の再整備 ・母樹対策指針に基づく活動展開 ◆出荷予測システムの見直しによる予測精度の向上と販売強化 ・補正指数見直しによる予測 ◆有機に準じた栽培支援 ・GAPへの取り組み強化 ◆ユズ振興計画の実現 ・新規栽培者並びに初級者の技術向上 ・果実品質と所得向上対策</p>	<p>◆ユズ搾汁施設の整備 ・高知県版HACCP取得への情報提供・支援(12月末、5回) ◆次世代優良母樹の確保に向けた調査と優良苗の生産供給体制の再整備 ・剪定・採穂・穂木調整等技術指導・支援(12月末 3回) ◆出荷予測システムの見直しによる予測精度の向上と販売強化 ・定点圃場調査(4圃場)と予測(12月末 3回) ◆有機に準じた栽培支援 ・GAP研修と実践支援(12月末 1回) ◆ユズ振興計画の実現 ・ユズチーム会の開催(12月末 8回) ・技術情報ペーパーの発行(12月末 9回) ・初級者巡回指導(12月末 2回) ・長期貯蔵試験の実施(11月～) ・出荷形態別経営調査(8月～) ・省防除試験の実施(1圃場 5月～11月 調査回数6回) ・学びと教えるの場の開催(12月末 5回) ・生産加工検討委員会の開催(12月末 0回)</p>
<p>4. 中山間地域の暮らしを支える集落営農の推進</p> <p>◆集落の農業者が協力して、管理が困難となった農地や高齢者等の労力などの地域資源を活用した農業経営を行い、将来にわたって地域で生活できる一定の所得と雇用の場を確保するための集落営農の仕組みづくりを行う。</p>	<p>1集落営農の推進 (1)先進的モデル集落の育成 (2)集落営農組織の確立とレベルアップ</p>	<p>◆先進的(モデル)集落の育成 ・関係機関連協議、現地指導(集落座談会、栽培講習会、研修会、先進事例調査等)の実施(12月末 31回)</p> <p>◆集落営農組織の設立とレベルアップ ・課題整理と取組方向の共有(関係機関打合せ 7回) ・説明会、研修会、集落座談会等の実施回数(12月末 16回)</p> <p>(関係事業) ・集落営農普及促進事業 展示ほ場設置2カ所 ・集落営農・拠点ビジネス支援事業 高須長場江:トラクター(560万)承認済み 介良沖ノ丸(298万)9月申請予定 梅ノ木ファーム(175,655)12月申請 土佐山葛蒲(1,250,000)12月申請</p>
<p>5. 四方竹のブランド化による中山間地域の振興</p> <p>◆全国的に希少性の高い四方竹を高知県のブランド品として育て、中山間地域の産業として振興するため、加工施設の整備等により、生産と地域加工の促進を図る。</p>	<p>◆生産と地域加工の促進 ・四方竹の栽培技術改善に向けた生態調査 ・加工残渣、竹チップの堆肥化等有効利用 ・1次加工場の処理能力(量)の把握と改善策の検討</p> <p>◆加工処理技術の改善と販路の拡大 ・中長期保存技術の改善と普及 ・2次加工品の商品化と販路拡大</p>	<p>◆生産と地域加工の促進 ・生態調査圃場の設置(6月)と定期調査(12月末、8回) ・竹チップの園芸作物への利用試験(小ネギ) ・1次加工能力の試算と改善点の検討など(2回)</p> <p>◆加工処理技術の改善と販路の拡大 ・中長期保存試験の実施、検討(12月末、7回) ・2次加工品の販売と販路の確保への支援(2回)</p>

アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと>	目標(H23)
<ul style="list-style-type: none"> ◆安定生産と供給 <ul style="list-style-type: none"> <露地ショウガ> 臭化メチル代替技術の現地適応性の評価、現地検討会・研修会・研究会等への出席者(396名) <新ショウガ> 現地検討会等の出席者(116名) 腐敗対策の確認(77名) ◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR <露地ショウガ> ・「エコシステム栽培」申請のための導入計画策定 ・ヒアリング、「エコファーマー」技術導入計画実践のため指導を受けた生産者(61名) ・「こうち環境・安全・安心点検シート」実施農家(61名) 	<ul style="list-style-type: none"> <新ショウガ> 23園芸年度販売額 8.3億円(前年比114%) 腐敗発生件数 23件→6件 ◆第二次・三次産業との連携による加工品開発、消費拡大とPR <露地ショウガ> ・「エコシステム栽培」認定品として本格販売開始 ・取引先に「安心安全な農産物生産」をPRでき、安定出荷による有利販売につながった 加工品の販売額(11月末現在) JA高知市 8,641千円 JA高知春野 1,326千円 <新ショウガ> ○組織体制の整備ができ、消費拡大PRを実施した。 	ショウガの販売額23.3億円 うち露地ショウガ11.8億円 うちハウスショウガ11.5億円
<ul style="list-style-type: none"> ◆ユズ搾汁施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・高知県版HACCP取得(11月) ◆次世代優良母樹の確保に向けた調査と優良苗の生産供給体制の再整備 <ul style="list-style-type: none"> ・優良穂木確保率(100%) ◆出荷予測システムの見直しによる予測精度の向上と販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ・予測量の情報提供(2回) ◆ユズ振興計画の実現 <ul style="list-style-type: none"> ・技術情報ペーパー総発行部数(3,690部) ・長期貯蔵技術上の要改善点の明示(予定) ・出荷形態別経営のモデルの作成(3類型) ・省防除の可否判定、体系化(予定) ・学びと教える場への参加率50% ・新ユズ構造改善計画の作成(予定) 	(参考) ・H22年度ユズ販売額1.92億円 ・22年産仮払い並びに21年産清算金 1.38億円(生産者手取り) ・新ユズ構造改善計画の認定	ユズの販売額1.7億円
<ul style="list-style-type: none"> ◆先進的(モデル)集落の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・七ツ淵:法人化に向けた課題整理、法人化ビジョンの作成検討 ・梅ノ木:組織運営の自立に向けた取組み(直販所への加入、直販向け品目試験栽培の実施) ◆集落営農組織の設立とレベルアップ <ul style="list-style-type: none"> ・説明会、集落座談会、研修会、先進事例調査等への参加者数 ・集落営農についての検討集落数 集落(介良・沖ノ丸、布師田、都積、久万川、高川、去坂、上の淵、横矢) ・レベルアップに向けた検討 集落(土佐山菖蒲、土佐山日ノ浦、高須長場江) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆先進的(モデル)集落 <ul style="list-style-type: none"> ・七ツ淵:法人化ビジョンの作成、 ・梅ノ木:組織運営の自立に向けた取組み(試験栽培の実施、協業面積 54a) 販売金額 ◆組織の設立とレベルアップ <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織数 5集落→6集落 介良・沖ノ丸 ・集落営農組織のレベルアップ ・土佐山菖蒲 ・土佐山・日ノ浦 ・高須長場江 	<ul style="list-style-type: none"> ◆こうち型集落営農モデル組織2組織 ◆集落営農組織(累計)10組織
<ul style="list-style-type: none"> ◆生産と地域加工の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・地下茎の発育の基礎データの把握 ・利用可否の判定 ・改善点の明示と改善(改善点:2箇所)、処理能力4t/日/加工場) ◆加工処理技術の改善と販路の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・中長期保存技術の確立(真空パック) ・2次加工品の製品化と販売(販売開始9月末) 四方竹味噌320個16万円、真空パック550パック23万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・四方竹の生産量(原料) 七ツ淵57.0t、土佐山52.8t 合計109.8t (前年比105%) ・四方竹販売額 七ツ淵2,213万円(未確定)、土佐山2,014万円 (前年比105%) 合計4,227万円(未確定) ・加工品の販売額 39万円 	四方竹の販売額4,200万円 *当初目標3,700万円

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>6. 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり:(1/3)</p> <p>◆「平成の名水百選」に選定された「鏡川」源流域を中心に、有機・無農薬等ECO農業に関する市民の意識の醸成や産地の形成、加工・流通・販売の確立に向けた取組を進め、ECO農業のブランド化を図る。</p>	<p>1 鏡川源流域での有機の里づくり ①販売計画による生産(経営戦略による生産・加工・販売計画の策定と実践) ②加工品部門の確立とHACCP(こうち型)に適合した新工場への移行(準備)</p> <p>2 市民農園 ① 有機農業技術を有するものによる利用者への栽培指導の実施 ② 栽培講習会の実施 ③ 地域の交流拠点としての活用 ④ 鳥獣被害対策の実施</p>	<p>1 鏡川源流域での有機の里づくり ①販売計画による生産(経営戦略による生産・加工・販売計画の策定と実践):デザイナー等との商品開発協議5回 ②加工品部門の確立とHACCP(こうち型)に適合した新工場への移行(準備)</p> <p>2 市民農園 ① 農園の管理運営委託契約の締結 ② 新規利用者に対する栽培講習会の実施(1回) ④ 鳥獣被害対策の実施(モグラ捕獲器設置・20箇所)</p>
<p>6. 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり:(2/3)</p> <p>◆「平成の名水百選」に選定された「鏡川」源流域を中心に、有機・無農薬等ECO農業に関する市民の意識の醸成や産地の形成、加工・流通・販売の確立に向けた取組を進め、ECO農業のブランド化を図る。</p>	<p>鏡川直販店組合の消費者ニーズに基づく直販所と生産体制づくり</p> <p>(1)生産履歴記帳活動の推進 生産履歴記帳活動とフードバック体制の確立を推進し、安全安心な直販所づくりを目指す</p> <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導 出荷・売上データ分析に基づく効率的な生産、販売体制を確立し、需給ギャップの解消を図る</p>	<p>(1)生産履歴記帳活動の推進 ・生産履歴担当者及び履歴チェック会の開催(12月末 8回)</p> <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導 ・需給ギャップ解消チーム会の開催(12月末 7回) ・入荷、販売データ調査及び消費者動向調査(6月～調査継続中。2月に年間報告予定) ・出荷及び売上データ分析報告会の開催(8/26) ・推奨作目リストの作成と生産者への掲示(6品目)</p>
<p>6. 鏡川源流域での有機・無農薬等ECO農業と薬草の里づくり:(3/3)</p> <p>◆「平成の名水百選」に選定された「鏡川」源流域を中心に、有機・無農薬等ECO農業に関する市民の意識の醸成や産地の形成、加工・流通・販売の確立に向けた取組を進め、ECO農業のブランド化を図る。</p>	<p>(1)ミシマサイコ ・栽培管理技術の向上 ・作業軽減対策の検討</p> <p>(2)ホソバオケラ ・栽培管理技術の検討</p>	<p>1)ミシマサイコ 栽培指導(現地検討会1回、2人 現地指導 4回、6人) 生育調査(5回)</p> <p>2)ホソバオケラ 栽培指導(現地指導4回、4人) 生育調査(7回)</p>
<p>7. 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上</p> <p>◆新たな価値を創造する野菜・果実の地区内生産と地区内農産物を活用した新たなレシピや加工品を開発するとともに、当該加工品などの販売を行う「マルシェ併設農産物加工場」を整備することで、6次産業化による春野産農産物の新たな販路確保と農家所得の向上、雇用の創出による地域の活性化を図る。</p>	<p>加工用野菜の栽培技術および計画出荷体制の確立</p> <p>(1)作物毎の栽培技術の確立 ・課題整理および検討会の実施 ・調査ほの設置および調査</p> <p>(2)計画出荷体制の確立 ・加工用野菜リストアップ、価格、量の検討 ・連携農家の掘り起こし ・作物毎の生産出荷体制の検討</p> <p>(3)加工品の生産と販路開拓</p>	<p>・高知県産業振興推進総合支援事業(加工場建築、厨房機器類等の導入) 総事業費 70,139千円(金額は交付決定時の事業費)</p> <p>(1)作物毎の栽培技術の確立 ・調査ほの設置 2ヶ所 調査回数16回 ・検討会の開催 4回</p> <p>(2)計画出荷体制の確立 ・加工用野菜のリストアップ 調査様式の提示 ・青果販売先の開拓</p> <p>(3)加工品の生産と販路開拓、販売 ・工業技術センターを活用したトマト濃縮 ・販売促進の実施(まるごと高知など 7回)</p>
<p>8. 稲ホールクロップサイレージを核にした耕畜連携の推進と二期作文化の復活</p> <p>◆稲WCS(稲発酵粗飼料)の生産・供給により、酪農家の粗飼料自給率の向上を図るとともに、稲WCSを給餌した牛乳として付加価値を高めることで、酪農家の経営安定化を図る。</p>	<p>●耕畜の連携 両者共利益が得る持続的なシステムづくり 高品質・高収量WCS生産・利用 作業マニュアルの策定 水田跡飼料作物の生産・利用促進 堆肥の有効利用</p>	<p>●耕畜連携会議【川淵牧場視察研修(牧場での研修会、堆肥舎見学)22名参加】 ●JA高知市布師田地区耕作WCS部会設立総会(会員16名) ●国産粗飼料増産対策事業概算申請 面積:8.09ha、補助金額:809千円 ●農業者個別補償制度の二毛作助成申請(水田跡ソルゴー栽培) 面積:9.6ha、補助金額:1,447,500円 ●耕畜連携助成(資源循環型)への取組 ●高知市営農技術会議畜産部会実証試験(堆肥散布実証) 面積:166.3a</p>

アウトプット(結果) 〈インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと〉	アウトカム(成果) 〈アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと〉	目標(H23)
<p>1 鏡川源流域での有機の里づくり ①販売計画による生産(経営戦略による生産・加工・販売計画の策定と実践) 新商品素材集め×5(惣菜等), 新商品開発×3(02, ぶしゅかん酢, 四方竹惣菜), 新商品販売×2(ぶしゅかん酢, 四方竹惣菜) ②加工品部門の確立とHACCP(こうち型)に適合した新工場への移行(準備): 高知市との協議結果→予算化保留</p> <p>2 市民農園 ① 有機農業の技術を有する組織との管理運営委託契約締結により, 安定的な指導体制の構築ができた。 ② 新規利用者(参加者4名)に対して有機農業についての理解を深めてもらうことができた。 ④ モグラによる被害を抑えることができた。</p>	<p>1 鏡川源流域での有機の里づくり ①販売計画による生産 ア)生産部門 ・有機ショウガ栽培 40a(H22)→60a(H23) イ)加工部門 ・主要加工品 2アイテム(H22)→5アイテム以上(H23) ※ 全体販売額5,517万円(11月末) うち農家販売額3,879万円 うち公社販売額1,638万円 ②加工場が県版HACCP認証を取得</p> <p>2 市民農園 ①② 農園管理受託先と利用者との間に良好な関係が構築され, 農園の管理運営も順調に推移している。</p>	<p>有機JAS認定事業者数(累計)5事業者</p>
<p>(1)生産履歴記帳活動の推進 ・生産履歴記帳活動におけるPDCAサイクルの確立(概ね確立)</p> <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導 ・鏡村直販店組合における入荷と売上の現状及び消費者動向を組合員が把握できた(半期分について報告済) ・推奨作目リストに基づく作付(リスト作成の基データ等取りまとめ中)</p>	<p>(1)生産履歴記帳活動の推進 ・安全安心な直販所として消費者にPRできる ・安全安心な農産物を提供することに対する組合員の意識が向上</p> <p>(2)需給ギャップの検証と推奨作目の作付誘導 需給ギャップの解消が計画できる状態にする(6品目)</p> <p>・直販店組合の販売額の向上</p>	<p>有機JAS認定事業者数(累計)5事業者</p>
<p>1)ミシマサイコ 栽培戸数1戸 栽培面積10a</p> <p>2)ホソバオケラ 栽培戸数2戸 栽培面積12a</p>		<p>有機JAS認定事業者数(累計)5事業者</p>
<p>・高知県産業振興推進総合支援事業を活用して現在加工場を建築 H23.9操業開始</p> <p>(1)作物毎の栽培技術の確立 ・加工用トマトは、夏季の栽培に向く品種であることを確認できた。 ・生育特性、収量性、経済性は調査中</p> <p>(2)計画出荷体制の確立 ・高知県園芸連を通じた青果販売を開始した(6月～)。</p> <p>(3)加工品の生産、販売(12月末) ・連携農家からの原料供給量 9,522kg トマト7,070kg 生姜1,310kg ハーブ15kg にんにく87kg たまねぎ1,040kg</p>	<p>●加工品の生産、販売(12月末) ・加工品販売額 7,800千円</p>	<p>農産加工品の販売額1,855万円 (H23加工場稼働につき6ヶ月の目標)</p>
<p>●耕種側に酪農場の理解と畜産堆肥の現状確認 ●布師田地区でのWCS取組のための組織ができた。 ●高知市地域稲発酵粗飼料生産・給与検討会の設立 ●国産粗飼料増産対策事業の採択結果 1農家の6.09ha分のみ、反当たり5千円に減額して採択、2農家分は不採択 ●耕畜連携助成(資源循環型) 面積:1.63ha</p>	<p>●飼料稲栽培実績 栽培面積:8.17ha、推定収量:170.9t(反収:2,092kg) ●水田跡ソルゴー栽培実績 栽培面積:9.67ha、推定収量:120.4t</p>	<p>飼料稲の栽培面積30ha</p>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) 〈講じた手立てが数量的に見える形で示すこと〉
<p>9. 生乳加工品の製造・販売による新しい酪農経営モデルの創出</p> <p>◆地場産品を活用した安心・安全な生乳加工品を消費者に提供するとともに、観光地や教育の場として牧場を活用するなど、新しい酪農経営のモデル牧場を創出する。</p>	<p>●菓子製造・販売の経営戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> ○販売促進 ○リピーター確保 (アンケート調査、来客数調査) ○製品開発 ◇牧場の触れあい機能及び地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○土佐グルメマーケットへの登録 ○県庁生協での外販 ○酪農教育ファーム
<p>10. 民有林における間伐の推進:(1/2)</p> <p>◆建設業者等の異業種と連携し「森の工場」の間伐、作業道等の推進及び、個人所有林を対象にした「協働の森事業」の推進により、放置林の解消につなげる。</p>	<p>◆集約化計画と森の工場計画等各種計画等との関係調整</p> <p>◆木材価格の低下に伴い森林所有者、素材加工事業体の事業意欲の低迷</p> <p>◆事業予定地の山林の所有者、所有界の確定が困難 (不在村地主、境界確定対応)</p> <p>◆作業道及び高性能林業機械の効率的作業システムの構築</p>	<p>◆造林補助事業及び加速化事業導入による間伐及び作業道の推進</p>
<p>10. 民有林における間伐の推進:(2/2)</p> <p>◆建設業者等の異業種と連携した「森の工場」などによって間伐を進めるとともに、個人所有林を対象にした「協働の森事業」の推進により、放置林の解消につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業システムの確立 ●協賛企業の確保 ●事業内容の調整 	
<p>11. 県産材の地域における需要拡大</p> <p>◆県産材の利用推進と需要拡大のPR等を行うことにより、木材・木製品の地産地消を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆県産材利用推進方針に沿った各部署の取組 ◆県産材利用推進方針に沿った市の取組 ◆県産材利用の民間への波及 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップ事業 ・新聞広告2回 ・構造見学会1回 ・完成内覧会1回 ・木造住宅フェア出展 ・クリスマスフェアの開催
<p>12. 高知市バイオマスタウン構想の実施</p> <p>木質バイオマスの利用拡大により、林地残材などの未利用資源の有効活用につなげるとともに、荒廃した竹林を整備し、伐採した竹をバイオマスとして有効活用することにより、竹による里山の生態系等への被害の拡大を防ぎ、もって循環型社会の形成や農山村の振興を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆活用できる公共施設等の把握 ●民間事業者の意向と調整 	<p>地元企業への働きかけ。</p>
<p>13. 底曳網による漁獲物の利用及び消費の拡大</p> <p>◆高知市御量瀬地区の底曳網による漁獲物の消費拡大に向けた取組を進め、漁家経営の安定化を図る。</p>	<p>・加工品製造・販売に向けた体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行支援チーム会 2回 ・水産加工業交流促進協議会への参加(1回) ・沖底漁業者と総合化事業計画策定に向けた協議(7回)

アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じるプラスの変化を示すこと>	目標(H23)
○県庁生協でのミルクソフトの定期販売(100個/週)の契約成立 ○酪農教育ファーム:14校、660人参加	○県庁生協での出張販売額約10万円/月 ○酪農に対する理解が得られた。	●菓子類の販売額1,440万円
◆間伐147ha、作業道3,900mが完成している。 ◆搬出間伐材積93m ³ 、チップ29.8tが終了している。		間伐の実施面積250ha うち森の工場の間伐実施面積(25ha)及び素材生産量(2,000m ³)
		間伐の実施面積250ha うち森の工場の間伐実施面積(25ha)及び素材生産量(2,000m ³)
構造見学会 : 9組20名 完成内覧会 : 48組、150名 木造住宅フェア : 多数 クリスマスフェア : 4組	商談継続中 5件	
新たな利用の提案。		
・沖底漁家の総合化事業計画の申請		

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>14. 冷凍ドロメの販路拡大</p> <p>◆冷凍ドロメの販路の拡大を図り、生産量を増やすことによって、漁家所得の安定や向上につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体の具体的な目標設定 ・活動に対するメンバーの共通認識 ・安定的な製造に向けた体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行支援チーム会 6回 ・役員会 4回 ・サンプル出荷 2回 ・業者との商談 1回 ・地元イベントへの出店 1回
<p>15. 販路拡大支援の充実</p> <p>◆地域産品の県外への販路拡大に向けた取組を進め、外貨を獲得することにより、産業の活性化につなげる。</p>	<p>○新たに販路拡大を検討している企業に対し、県外・国外での新たな市場開拓を支援し、企業力を向上していく必要がある。</p>	<p>○高知市販路拡大チャレンジ事業の上半期及び下半期募集を行った。</p>
<p>16. 土佐のものづくり企業による地産外商の推進</p> <p>◆機械・金属を中心とした「ものづくり企業」の受注拡大や販路拡大に向けた取組により、地場産業の活性化を図り、雇用機会の増大を目指す。</p>	<p>○行政機関・支援機関が一体となった企業支援体制の確立 商談会の開催や見本市への出展がより効果的な企業支援となるよう、各機関との連携・調整が必要である。 (商談会) ・県内受注企業に即した発注企業の開拓 ・受注企業と関係機関との連携 ・中核企業の育成と県内企業間のマッチング (見本市) ・販路拡大効果の高い見本市の選定</p>	<p>(商談会) ・高知じばさんセンターで四国ビジネスマッチング2011(広域緊急商談会)を開催した。 ・岡山県で第1回ミニ商談会を開催した。 ・大阪で開催されたモノづくり受発注広域商談会に参加した。 ・岡山県で第2回ミニ商談会を開催した。 ・高知県で第3回ミニ商談会を開催した。 (見本市) ・2011NEW環境展(東京ビックサイト)、関西機械要素技術展(インテックス大阪)、メッセナゴヤ2011(ポートメッセなごや)に高知県ブースの出展を行った。 (企業訪問) ・H22年度に高知市雇用創出促進協議会が主催で実施した商談会に参加した県外発注企業6社を訪問</p>
<p>18. 環境に優しい未活用資源の有効活用</p> <p>◆各産業の連携によって、未活用食材を使った商品開発の取組を検討し、「地産地消」「地産外商」「1.5次産業」の推進を図り、産業振興を目指す。</p>	<p>・産業支援機関等との連携による幅広い情報収集と効果的な支援等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回農商工連携マッチングセミナーの開催<7月28日> ・第4回農商工連携マッチングセミナーの開催<12月1日>
<p>19. はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランに基づく中心部の活性化</p> <p>◆「おまちの再興」「観光客を呼べるまちづくり」を目指し、「東西軸エリア活性化プラン」に基づき、官民協働でプランを推進し、幅広い経済効果やビジネスチャンスに繋げる。</p>	<p>○官民協働によるプランの推進 ・県民・市民の共通認識の醸成:中心商店街を誇れる県民の「おまち」として残していく意識づくり ・共通の問題意識を持って取り組む関係者間のまとまりの形成:関係者間の合意づくり</p>	<p>フォローアップ委員会の開催</p>
<p>20. 中心商店街でのアンテナショップの運営</p> <p>◆中心商店街において、常設のアンテナショップを開設し、地域産品の販売促進や都市部の住民を対象にしたマーケットリサーチにより、地域の生産者等の収入の確保につなげるとともに、各種の情報提供により、来街者の利便性の向上や商店街の売上げの増加に資する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆魅力ある県産品の販売(県内産品の掘り起こし) ◆テストマーケティングを希望する生産者の掘り起こし ◆カフェにおける地域産品を活かしたメニューの拡大 ◆実施事業に係る商店街関係者(組合、事業者等)との連携 ◆「志国高知龍馬ふるさと博」との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・お中元ギフトのパンフレットの作成・配布 ・新しいパンフレット「高知のもん厳選版」の作成

<p>アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと></p>	<p>アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと></p>	<p>目標(H23)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高知市市民間業者と取引開始(12月末時点で3,000袋販売) ・冷凍どろめ売上高:約80万円(約6,000袋) 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業者の副収入の確保 	
<ul style="list-style-type: none"> ・上半期10社認定 交付決定額 10社 1,718千円 ・下半期12社認定 	<p>上半期の実績 問合件数 304件, 商談件数 129件, 成立件数 23件, 成約額 10,560千円, 交渉中件数 70件, 不成立 53件</p>	
<p>(商談会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国ビジネスマッチング2011(広域緊急商談会):発注企業47社、高知県内受注企業 43社が参加。 ・岡山で開催された第1回ミニ商談会に高知県内企業5社が参加。 ・モノづくり受発注広域商談会に高知県内企業9社が参加。 ・岡山で開催された第2回ミニ商談会に高知県内企業3社が参加。 ・高知で開催された第3回ミニ商談会に高知県内企業4社が参加。(見本市) ・2011NEW環境展:県内企業11社が出展 ・関西機械要素技術展:県内企業10社が出展 ・メッセナゴヤ2011:県内企業6社が出展(企業訪問) ・訪問企業のうち、1社とミニ商談会実施が見込まれそうであること。 	<p>(商談会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国ビジネスマッチング2011(広域緊急商談会):成約13件(3,048千円)、見積依頼48件 ・第1回ミニ商談会(岡山):成約2+α件(17,000千円)、見積依頼5件 ・第3回ミニ商談会(高知):成約2+α件(4,000千円)(見本市) ・2011NEW環境展:成約25件(29,000千円)、見積依頼43件 ・関西機械要素技術展:成約1件(220千円)、見積依頼7件 ・メッセナゴヤ2011:成約2件(630千円)、見積依頼13件 <p>(企業訪問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな取引の可能性を見出した。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・第3回農商工連携マッチングセミナーを開催した(参加者:第1部/12人、第2部/28人) ・第4回農商工連携マッチングセミナーを開催した(参加者:32人) ・農商工連携マッチングセミナーを通じて、高知市内の農林漁業者と商工業者との交流が図られた。今後における生産者と食品加工業者が連携した新しい事業展開が期待される。 		
		<p>中心商店街の空き店舗率 増加傾向に歯止め 商店街等の通行量(夏期・休日) 減少傾向に歯止め 観光客の入込み数 300万人</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○県産品の販売(H23.2.19~12.31) (売上高約97,780千円 一日当たりの売上目標達成率105.9%) ・地域産品の掘り起こし:業者数344業者 登録アイテム数約2,900品 店舗陳列アイテム数約1,600品) ○コミュニティ事業 ・高齢者向け講座:16回 延べ153人 内容:高血圧予防の講座など ・子育て世代向け講座:14回 延べ187人 内容:離乳食の講座など ・子供向け手作り教室:3回 延べ33人 内容:人形づくりなど 		<p>中心商店街の空き店舗率 増加傾向に歯止め 商店街等の通行量(夏期・休日) 減少傾向に歯止め 観光客の入込み数 300万人</p>

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>21. 多彩なイベントや演出等によるおまちのにぎわいづくり</p> <p>◆せり出し市等の多彩なイベントや、フラフ等による季節的な演出などにより、おまちのにぎわいを創出する。</p>	<p>【せり出し商いプロジェクトの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値引き市、100円商店街の推進、普及 <p>【フラフ等で季節ごとの演出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲揚場所、時期、フラフ圖案等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラフ等のデザイン企画開始
<p>22. おまちに関する情報発信の充実</p> <p>◆おまちに関する情報を、より多くの人に届けるために、ガイドブック、ホームページ、ブログ等を幅広く活用し、総合的な情報発信を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商店街ホームページの充実 ・中心商店街、てんこす、TMO各ホームページの連携、調整 ・効果的な発信方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心街HPリニューアル ・ブログ、ツイッターによる情報発信の開始 ・おまちの情報としての発信開始(2週間単位 12月末No.18発信)
<p>23. 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上</p> <p>◆新たな高知市中心市街地活性化基本計画を策定し、多様な主体の参画のもとに、中核市として、にぎわいと活力ある中心市街地の再生を目指し、都市機能の増進と経済活力の向上を図る取組を進める。</p>	<p>【素案に基づく具体策の洗い出し】</p> <p>実効性の伴った事業の掘り起こしによる素案のブラッシュアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心商業地区の魅力の強化 ・活性化の核となる拠点の形成 ・中心市街地内の回遊性の向上 ・中心市街地内のアクセス性の向上 など <p>【産業振興計画、高知市地域アクションプランなど、他の計画との整合性】</p> <p>【はりまや橋周辺から高知城までの東西軸エリア活性化プランに基づく事業の実施】</p> <p>【追手前小学校西敷地の土地利用の検討】</p>	
<p>24. 清流鏡川や浦戸湾などの地域資源の活用と近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進</p> <p>◆アユ群れる清流鏡川や浦戸湾などの地域資源を活かした滞在型・体験型観光を推進するとともに、周辺市町村等とのネットワークを強化し、情報発信機能の強化やPR活動の充実、周遊ルートづくりを行うことによって、1泊以上できる観光地づくりを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町村等(仁淀川流域圏・物部川流域圏等)と連携して新しい観光資源を創出することによる観光地として高知市の魅力向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ●広域観光推進検討会(高知中央広域市町村圏事務組合主催)参加 ●仁淀川地域観光協議会担当研修会参加 ●高知市内の宿泊施設の宿泊客を対象にした「五台山パノラマ夜景モニターツアー」を試行(11月)(高知市主催)
<p>25. 「よさこい」を通じた観光客の誘致と「よさこい」ブランドの確立】</p> <p>◆ 全国に誇れる「よさこい」を通じて、外国人も含めた観光客の誘致と、「鳴子」などの地域物産による「よさこい」ブランドの確立を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国に広がり日本の祭りの一つとして成長する高知のよさこい祭りだが海外ではあまり認知がされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆共用地方車の設備については、7月の土曜夜市のイベントでの検証を踏まえて音響機器の性能を決定し、年度内に整備することとしている。現在保管場所等を検討中 ●よさこいおもてなし隊による「こうち旅広場」でのステージショー開始(7/9～3/31) ●「全国よさこい学生大会」開催(11/12) ●「高知市商店街龍馬生誕祭」にてよさこい鳴子踊りを披露(11/15)
<p>26. 映画を通じた「よさこい」発祥の地としてのアピールと観光客の誘致</p> <p>◆「よさこい祭り」を題材にした映画の製作を支援し、「よさこい」発祥の地として全国にアピールするとともに、ロケ地を観光ルート化することにより、観光客の増加につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村と連携したロケ地のPR・紹介。 	<p>第3種旅行業の登録を受けて高知市及び高知市近郊の着地型旅行商品を造成している鞆城西館のロケ地めぐりコースに県外客2名が参加</p>

アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	目標(H23)
		中心商店街の空き店舗率 増加傾向に歯止め 商店街等の通行量(夏期・休日) 減少傾向に歯止め 観光客の入込み数 300万人
		中心商店街の空き店舗率 増加傾向に歯止め 商店街等の通行量(夏期・休日) 減少傾向に歯止め 観光客の入込み数 300万人
		中心商店街の空き店舗率 増加傾向に歯止め 商店街等の通行量(夏期・休日) 減少傾向に歯止め 観光客の入込み数 300万人
●「五台山パノラマ夜景モニターツアー」参加者65名		観光客の入込み数300万人
		観光客の入込み数300万人
		観光客の入込み数300万人

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

<高知市地域>

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) <講じた手立てが数量的に見える形で示すこと>
<p>27. 観光情報の集約と情報発信力の強化</p> <p>◆観光客の多様なニーズに対応するため、観光と物産に関する情報を集約するとともに、インターネットを積極的に活用して、多様で特色あるPRを推進する。</p>	<p>◆旅色 ・webマガジン「旅色」の継続的な更新 ★こゆび ・タイムリーな情報の提供 ・コンテンツの充実</p>	<p>★スマートフォン利用者が「こゆび」の提供する観光情報を利用できるサービスを開始(8月～)。 ●webマガジン「旅色」高知版の事業主体に対する市の補助</p>
<p>28. 「エンジン01オープンカレッジin高知」の開催を契機とした交流人口の拡大</p> <p>◆「エンジン01オープンカレッジin高知」の開催で、つながりのできた「エンジン01」会員への高知の魅力のアピールを通じて、県外観光客の誘致につなげる。</p>	<p>・高知エンジン03の開催のための推進組織の立ち上げ ・事務局機能を高知商工会議所青年部から高知青年会議所に引き継ぎ(1年毎に交替の予定) ・「エンジン02」の反省を踏まえ、企画内容の早期作成およびエンジン01文化戦略会議事務局とのスムーズな意思疎通を図る</p>	<p>・高知エンジン03の開催についてエンジン東京事務局に協力を依頼 ・高知エンジン03をH24.3.31に開催することが正式決定(11/5第1回実行委員会にて)</p>
<p>29. 温泉開発による観光地としての魅力の向上</p> <p>◆観光目的として非常にニーズが高い、温泉を開発することにより、観光客の増加につなげる。</p>	<p>・「高知市温泉観光化ビジョン」の実現に向けたイニシャルコスト、ランニングコストの確保、民間と行政との役割分担の明確化</p>	<p>・高知市旅館ホテル温泉協同組合が5年間の取組内容を高知市議会に報告 ・高知市旅館ホテル温泉協同組合が公設民営による温泉開発を高知市に提案したが、協議の結果、温泉組合が自ら新規に温泉開発することも視野に入れて検討することになった。(7/26) ・高知市旅館ホテル温泉協同組合が温泉施設整備について高知市・地域本部と協議(11/28)</p>
<p>30. 「龍馬伝」を契機とした観光の振興</p> <p>◆坂本龍馬の志や生き様に触れようと、全国から数多くの龍馬ファンや観光客が訪れる中で、2010年のNHKの大河ドラマ「龍馬伝」を契機として、さらなる観光振興につなげる。</p>	<p>◆土佐っ歩 ・ボランティアガイド養成講座の定期的実施及びスキルアップ研修の実施による土佐っ歩の更なる魅力向上 ■観光遊覧船 ・団体客向けの企画商品づくり及び団体客の誘致のための旅行代理店等への売り込み ・高知市ふるさと雇用企画提案型雇用創出事業がH24.3末で終了するため、終了後においても専従職員を配置可能とするだけの乗船客数の拡大</p>	<p>◆土佐っ歩 ・既存6コースをリニューアル、特別コース2コース(土佐勤王党コース・長宗我部コース)を新設して実施(4/1～) ・記念館周辺住民にこの地域の地域資源を再認識していただくための「町内版・土佐っ歩」(観光ガイドサポーターづくり事業)を実施(9/11高知市主催) ■観光遊覧船 ・特別企画の実施 東北関東大震災義援金特別企画(4/1～4/15)、桂浜発着ミニクルージング(5/1～5/6)、高知市納涼花火大会でのお花火遊覧(8/9)、サンセット&お月見クルージング(遊覧船de土佐のおきやく)開始(9月～)、午前発2便が御置瀬漁港に寄港(11月～3月)等 ・宿泊施設との連携:株城西館の旅行商品「遊覧船から見る龍馬が見た土佐の風景」(10月開始・通年) ★外国人観光客の受入体制の整備 高知市立龍馬の生まれたまち記念館での外国語(英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語)パンフレット作成及び音声ペンを使った展示物の外国語ガイド開始(4月～)</p>
<p>31. 食による観光の推進と地域物産との連携</p> <p>◆高知の強みである「食」を活かした観光と地域物産との連携により、観光客の誘致や観光消費額の増加につなげる。</p>	<p>・名物料理提供店舗のマップづくりなど情報発信の強化 ・販売店舗数の拡大、認知度のUP。</p>	<p>・高知市会場での「志国高知龍馬ふるさと博」の食まつり(土佐の豊穰祭in高知市)開催(10/1～3)</p>

アウトプット(結果) 〈インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと〉	アウトカム(成果) 〈アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと〉	目標(H23)
		観光客の入込み数300万人
・高知エンジン03の講師の一部が決定		観光客の入込み数300万人
		観光客の入込み数300万人
<p>◆記念館周辺住民にこの地域の地域資源を再認識していただくことができた。また、土佐っ歩終了後のミニ講演会・交流会による周辺住民との意見交換等を行うことができた。</p> <p>■観光遊覧船 ・観光客のニーズに沿った企画を行うなどによる乗船客数の増(4月～12月の乗船数計6,024人 対前年約18%増)</p> <p>★外国人観光客の受入体制の整備 高知市立龍馬の生まれたまち記念館での展示物の外国語ガイドの利用実績 (H23年4月1日～H24年1月12日の間で計245人の外国人利用者有)</p>	<p>■観光遊覧船 ・高知市内の宿泊施設(城西館)の旅行商品の造成に協力する等連携が進み始めている。</p>	観光客の入込み数300万人
・中央公園エリア及びこうち旅広場エリア入場者数が約10万人となった。		観光客の入込み数300万人

【地域アクションプランの取り組み状況と成果】

＜高知市地域＞

項目名及び事業概要	主な課題	インプット(投入) ＜講じた手立てが数量的に見える形で示すこと＞
<p>32. 土佐の偉人ゆかりの地の魅力向上と情報発信</p> <p>◆坂本龍馬を始めとする土佐の偉人ゆかりの地の魅力を高めるとともに、県外に情報発信することで、観光客の誘客を図る。</p>	<p>・全国龍馬ファンの集い高知大会を開催することによる龍馬のふるさと高知の魅力の発信 ・長宗我部関連史跡の更なる磨き上げと情報発信の充実</p>	<p>■坂本龍馬 ・全国龍馬ファンの集い高知大会開催(10/22・23) ・「龍馬語録」を15,000部印刷し、配布(11/5～) ●長宗我部元親 ・長宗我部元親初陣祭開催(5/22・若宮八幡宮) ・若宮八幡宮が「秦神社レンタサイクル 長浜、浦戸史跡巡り」を試験的に実施(8月～) ・高知市が長宗我部元親ラリー(主催：南国市、歴史民俗資料館、長宗我部フェス実行委員会)に共催団体として参加(9/17～1/15) ◆瑞山記念館 ・リニューアルした瑞山記念館の一般公開(3/17～) ・武市半平太慰霊祭(5/11)に併せて武市半平太直筆の掛け軸を展示(5/11～13)(※普段は複製品を展示) ・瑞山記念館運営委員会による瑞山記念館の周辺整備実施(6月)</p>

アウトプット(結果) <インプット(投入)により、具体的に現れた形を示すこと>	アウトカム(成果) <アウトプット(結果)等を通じて生じる プラスの変化を示すこと>	目標(H23)
■坂本龍馬 ・全国龍馬ファンの集い高知大会に県内外から約400人参加 ・「龍馬語録」がとさてらす等で好評のため年度内に追加印刷する予定。		観光客の入込み数300万人